

# Viva Kango

No.50

Campus News of Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1 TEL (0157) 66-3311 FAX (0157) 61-3125  
mail to:kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp http://www.rchokkaido-cn.ac.jp

発行日/2019年7月31日  
編集・発行/広報委員会

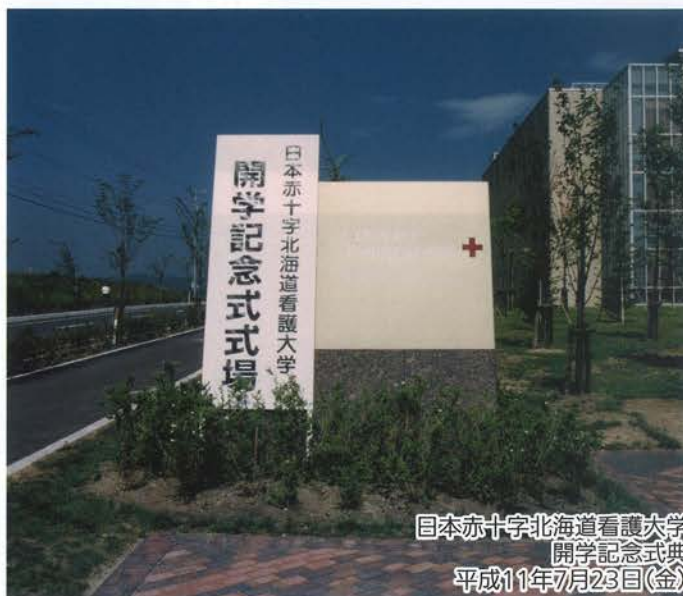


日本赤十字北海道看護大学

令和元年、本学は開学20年を迎え、学内誌VivaKangoも創刊から50号となりました。前号に引き続き、開学20年記念として平成11年7月に行われた開学記念式典の様子と、卒業生のご活躍をお伝えいたします。開学記念式典については、本学ホームページに掲載しているVivaKango創刊号を合わせてご覧ください。



常陸宮妃華子さまと本学1期生



日本赤十字北海道看護大学  
開学記念式典  
平成11年7月23日(金)



常陸宮妃華子さまによる記念植樹  
(本学正面玄関前)



講堂で開催された開学記念式典





学生食堂で開催された開学記念祝賀会



初代学長松本光子先生と談笑される常陸宮妃華子さま



日本赤十字北海道看護大学  
設立準備室の内部



日本赤十字北海道看護大学  
設立準備室  
(現在の来賓駐車場の下)

### 学生時代の思い出と今

看護学部 看護学科 四期生  
厚岸町役場 保健師

石川 静世

こんにちは。私は現在、地元の厚岸町役場で保健師として勤務している石川静世と言います。本学の第四期生です。大学生時代の私は、特に勉強ができるわけでもなく、いつも自分に自信がありませんでした。実習を難なくこなす人や実技試験を簡単にパスする人に対してとても羨ましく思っていました。アルバイトにしても「あの人は出来るけど、私は…」と常にネガティブでした。それは「なんでも完璧にこなさなければ看護師になれない」と思っていたからです。完璧に出来る人はいません。自分の出来ることをしっかりと着実にこなすことで、仕事として認められていきます。「自分は何んでも出来る」と思うことの方が怖いことです。

保健師の仕事は、看護師とは全く違い「地域で暮らす人すべて」が対象です。生活習慣



病を始め、精神疾患を持つ方、精神疾患を抱えながら育児をする母親など本当に色々な方と出会います。支援の中で必要になってくるのは「自分が生きてきた中で経験したことすべて」です。(もちろん看護の知識が必要なのは大前提です)アルバイトの経験、たくさんの人と話した経験などがとても役に立ちます。支援を必要としている方は「保健師を求めている」方が多数です。特に精神疾患を抱える方は気分の波で「会いたくないから帰ってくれ」と言われることが多いのです。その時にこういう切り口が必要なることを伝えるかのヒントは今までの経験が役立つと思います。

在学生のみなさんは勉強や実習に追われ日々の経験を振り返ることは難しいかもしれませんが「今日はこんなことがあった。こんな話をした」と思い返してみてください。そしてそこから自分がどう感じたか、何に活かせるか…と考える癖をつけて欲しいと思います。それがアセスメント能力の向上にも繋がりますし、どんな仕事にも活かれます。そして、先生や友達を大いに頼って欲しいと思います。依存先(「頼るだけの仲間」ではなく、支えあう仲間)を見つけることはとても大事です。一人では何もできません。

そして、若いからといって身体に無理はせず、勉強も頑張ってくださいね。(そしてExcelとWord、PowerPointは使うこなせるようになっていた方がいいです！)



## ご挨拶

日本赤十字北海道看護大学

学 長 河 口 てる子

災害が少ないと言われていた北海道で、昨年の震度七の激震、それに伴う全道停電は、北海道民の防災意識を一変させました。多くの人が地震や災害はどこでも起こりうるもので、北海道も例外ではない。災害に備えなければと、官民揃って、災害対策に熱意を入れ出しました。本学は、以前から災害対策を検討していて、特に健康にかかわる厳冬期の災害のために実験的な演習に定評があります。救護班の他に、体育館の防寒、吹雪の車内での対策、エコノミー症候群防止の段ボールベッドなどなど。また、そのような対策だけでなく、学生のボランティア意識も向上し、必要などころには誰に指示されるわけでもなく集まり、昨年は被災地に送る段ボールをトラックに積み替える3時間もの作業をしてくださいました。感激しております。

さて、本学に入学し、看護師への第一歩を踏み出したものの、人と接する職業への相性など、この道に進むのが辛い学生も見受けられます。そういう時は、学生だけでなく保護者の方も一緒に立ち止まって、しっかり考えて決断していただきたい。本学は、高いhumanityの理念と確かな実践から培われた「実践知」「技術」を持つ大学です。教職員一同、全力でサポートいたしますので、学生の皆さんには、専門職として「看護の道に進む」決意とともに歩んでほしいです。

## 学年担任の紹介

### ◎ 第一学年 ◎

伊藤 善也

『看護師』という目標に向かって歩み始めた一年生の皆さん、大学生活はいかがですか。新たな出会いに戸惑いを感じておられるでしょうが、新芽はいずれ花となって綺麗に咲くでしょう。私たちは皆さんのそばで土を起こし、肥料をまいて見守っています。学生生活を思う存分、楽しんでください。

志賀加奈子

一年生の皆さん、本学へようこそ。新しい生活には慣れたでしょうか？古くから『光陰矢の如し、少年（もちろん女子もですね）老い易く、学成り難し』と言いますから、一日一日を大切に過ごして下さいね。皆さんが健康で、勉学に励むことが出来るように熱く応援していきます！

新谷 純代

一年生の皆さんこんにちは。遠方から来られた方も多いと思います。大学生活には慣れましたか？勉強はもちろんのこと、北見での生活を楽しみ、仲間とともにかけがえない四年間を過ごしていただきたいように、精一杯サポートさせていただきます。どうぞよろしく願います。

須田 彩佳

一年生の皆さん、保護者の皆さま、地域・在宅看護学領域の須田彩佳です。皆さんが学業に集中し、有意義な学生生活を過ごせるよう、学業と生活のサポートを行っていきます。困ったときや悩んでいることがあり

ましたら、いつでも相談に来て下さい。どうぞよろしく願います。

### ◎ 第二学年 ◎

山本 憲志

大学に入学し、早いもので一年半が過ぎましたね。二年生になり、後輩も出来ました。また、専門科目の講義が増えたと思います。半年後には本格的な病院実習が始まりますね。良い医療従事者になれるよう日々の努力を積み重ね、残り二年半の大学生活を悔いの無いよう過ごしましょう！

吉田 理恵

二年生の皆さん、保護者の皆様、昨年に引き続き担任となります基礎看護学領域の吉田です。よろしくお願いたします。皆さんの様子からは、学習スタイルの定着や充実した大学生生活を見てとれます。これからは、より専門性が増す教科や臨床実習が多くなり、自分の進路や生活に悩むことも多くなるかもしれません。少し話すだけでも気が楽になることもあると思います。いつでも声をかけてください。今年も、応援しています。

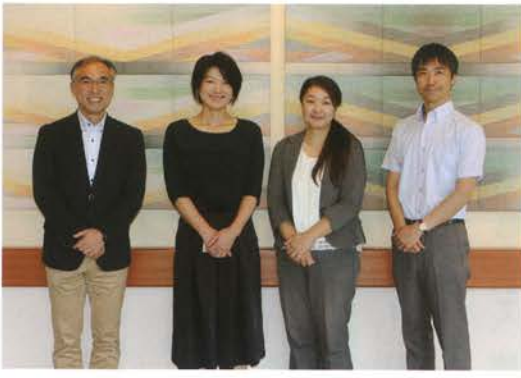


村林 宏

生態科学領域の村林です。皆さんが一年生になってからは授業でお会いすることも無く、人づてに皆さんの状況を聞く毎日です。記録の提出に追われているのでしょうか。いよいよ看護の学生っぽくなってきましたね。疲れた時には僕の研究室に息抜きに来てください。お待ちしております。

狩野 恵

二年生の皆さん、講義や演習、実習など、忙しい毎日を送っていることと思いますが、これからも大切な授業や実習が続きます。しかし、対象者と向き合うためには、自分自身の心身のバランスが取れていることがとても重要となります。困ったこ



とや悩んでいることがあれば、いつでも相談に来て下さい。一緒に考えていきましょう。

### ◎ 第三学年 ◎

山崎 弘資

今回、園田・種本両先生と私が持ち上がり、伊東先生に代わり吉谷先生が新たに加わりました。一年前入学した一六名の仲間の内、七名が退学、四名が留年となっております。現在の三学年の在籍者数は一一三名ですが、全員が一緒に卒業できるよう担任としてサポートしていきたいと考えております。

園田 裕子

三年生の皆さん、ご父兄の皆様、引き続き担当致します。成人看護学領域准教授の園田裕子です。山崎弘資先生を中心に四名が連携し。三年生の学業と生活のサポートを行っていきます。どうぞよろしくお願い致します。四月から領域実習が始まりました。実習では、自分の未熟さや看護の厳しさを経験し挫けそうになることもあることでしょう。そんな時は一人で抱え込まず、いつでも担任に相談をしてください。私たちは



皆さんをいつも見守っています。

吉谷 優子

前期は実習に取り組み、充実した学期を過ごされたと思います。夏休みは有意義に過ごせたでしょうか。秋になり、交通安全や防犯に一層留意して、まずは安全に過ごしていただきたいと思います。その上で、図書館等大学にあるものはしっかり活用して、今後も学習に勤しましましょう。

種本 純一

本年度からいよいよ領域別実習が始まりました。学ぶことが多い反面、求められる知識や人間関係もさらに増え、大変つらい時期だと思えます。大切なのは毎日休まず、実習に臨む

ことです。困ったときはいつでも相談に来てください。皆さんが実習を乗り越えられるよう、全力でサポートしていきます。

### ◎ 第四学年 ◎

山口 佳子

担任の山口佳子です。皆様、いよいよ最終学年ですね。そして、看護の実践者として旅立ちの日が刻一刻と近づいています。楽しみにしていますか？卒業まであと少し。自分を信頼し、力を振り絞り、看護師としての知力のできる限り蓄えましょう。全力で応援します！エイ・エイ・オー！

矢萩 悦啓

皆さん、大学生活も大詰めです。国家試験全員合格を目指してしっかり準備を進めましょう。「あきらめたらそこで試合終了」だそうです(スラムダンクの作者、井上雄彦)。くじけそうなときは友達と励まし合って前に進んでください。たまに息抜きに研究室に遊びに来てください。

石崎 智子

四年生の皆さん、保護書の皆様、精神看護学領域の石崎です。看護学生として最後の一年間をご一緒させて頂くことになりました。社会に巣立つ前の「希望」と「不安」に揺れているこの時期に、充実した時間を過ごすことができるよう、支援して参りたいと考えています。一緒に頑張らしましょう！

尾山とし子

あっという間に「四年生になったかった」と感じている人が多いのではないかと思います。光陰矢のごとし。これからの一日一日は、将来へ繋がる大切な毎日です。意地でもクラス全員が国家試験に合格できるよう、気合いを入れて頑張ってください！





## 学生時代の思いと今

看護学部 看護学科 五期生  
群馬県 株式会社エムダブルエス日高  
看護師

堀越 卓仁

みなさんはじめまして。五期生の堀越と申します。私は今、故郷の群馬で訪問看護に携わっています。このコーナーのオファーが来たものの「私のことを知っても何の参考にもならないよ」と思いつつ、VIVA看護のバックナンバーを拜見いたしました。いやしかし、どの先輩もひどいことばかり。安心して筆を取りました。

恐らく先輩の誰しもが思うことの一つが、「授業をもっとちゃんと聞いておけばよかった。」ご多分に漏れず、私も授業開始十分程でほとんど寝ていました（これオフレコでお願いします）。本当によくぞ卒業でき、国家試験も合格できたなと思います。そんな私も今では臨地実習の指導者を務めさせていただくこともあり、今になって想うこととして、学生と教える側の関係は1対1です。つまり授業中に寝る学生と寝かせてしまう教員、そ



の責任も1対1、50%対50%。興味を持ち、わくわくさせられる授業は寝ている暇を与えません。看護の魅力を真に伝えていくことは、一歩先に看護師となった我々自身にかせられた使命であると感じています。

褒められたものではない学生生活ですが、よく頑張ったなと思えることもあります。それは、目の前にあるチャンスにとにかく飛びついたことでした。自治会に入り色々な学校行事で暴れたり（いい意味で）、よさこいソランにハマって薄荷重子で各地の祭りに参加したり、一人で車を運転して北海道を一周して道の駅を完全制覇したり、春にはビートの種植え、秋にはじゃがいも掘りのバイト、網走の海では鮭を一本釣り、美幌峠では忘れることのできない美しい星空を見ました。たくさんのお話を経験してきました。それでもまだ「ああすればよかったな」と思うこともたくさんあります。今しかできない経験があります。若さは時間、時間は財産です。今見たもの、触れたもの、感じたものがこれからのあなたを造ります。人間としての深みが、看護師としての深みを与えます。今できることを一杯やってください。

つい、熱くなってしまいました、すいません。こんな偉そうなこと言ってますが、私も実は看護が嫌になって看護師から離れたことがあります。道は一つではありません。どうかあなたにも素敵な看護が訪れますように。

看護学部 看護学科 六期生  
札幌医科大学附属病院  
南五階病棟 副看護師長

館山 卓也

皆さんこんにちは。日本赤十字北海道看護大学八期生の館山です。大学を卒業後は札幌医科大学附属病院に就職し看護師として十二年働いています。また副看護師長という役職もついで、患者へのケアだけではなく、管理的な役割も担っています。

今の部署にも様々な看護大学の実習生を受け入れています。その実習生の姿をみると、十年以上前のことなのに自分が実習していたことや、大学での生活を鮮明に思い出します。学生時代は、授業はさぼらず寝ないで聞いていました。これを言うときと真面目かと思われませんが、ただテストに落ちたくなかっただけです。でも結局、基礎看護学演習の背部清拭の試験を落としてしまいました。今までにない絶望感を抱きましたが、そこで支えてくれたのは同級生達です。あの当時笑って過ごすことができたのは間違いなく、そういった同級生がいたおかげです。



実習の思い出といえば、やはり受け持たせていただいた患者さんとの関わりです。十年以上経ったいまでも、全ての領域で受け持たせていただいた患者さんの顔や疾患名、家族構成まで思い出せます。それぐらい患者さんに関わることに楽しさを感じていました。一日の行動計画や看護展開などの記録が毎日続き、正直辛いのが実習だと思えます。でも辛の中に楽しさがあったからこそ続けることができたと思えます。

そんな自分がまさか、看護師長の補佐をする副看護師長になるとは思いませんでした。きっと昔の自分を知っている実習指導者の方や大学の先生方は信じられないと思うでしょう。本当に誰がどうなるかはわからないものです。でも間違いなく、今看護師を続けている人達は看護という中に何か楽しさを持っていると思います。自分もみんなが働きやすい職場になるようにマネジメントしている今がとても楽しいです。学生の皆さんはこれから色々な経験をしたいと思います。その中で何か楽しさを感じることができると、きっと大きな成長につながると思います。そういった成長ができるように心から応援しています。



## 看護学入門Ⅱの紹介

看護学入門Ⅱは、一年次の前期に開講される選択科目です。本学の実習施設の中心となる北見赤十字病院のご協力の元、本学の教員三名が引率して医療の現場である北見赤十字病院を見学させていただきました。今年度は一年次一一名全員が履修し、病院紹介のDVD視聴後、通常一般の人は、絶対に入る事ができないヘリポートなどを含めて様々な部門に伺い、学生からは病院の環境が患者様のために色々と工夫し、日頃から環境整備されていることをたくさん知ることができた。



また、災害時の対応として家具一つにしても誰でも運べる軽いものを準備しているなど多く備え・工夫をされていて驚いたなどの言葉が聞かれました。今回の見学を通して、学生自ら手と目で触れ、病院についての理解が深めることができたようです。この経験を活かして、今後看護についての学習がより深められることを教員一同願っています。ご協力いただきました北見赤十字病院の皆様、ご説明いただきました事務職員の方々、どうもありがとうございました。

## 第二十一回 大学祭

令和元年六月二十二日(土)、二十三日(日)に第二十一回大学祭「The power of nursing」(平成から令和へ)が開催されました。今回は令和初の大学祭とあって大学祭実行委員の学生たちも張り切って準備を進めてまいりました。初日は生憎の天候でしたが、初日限定の献血のために多くの方が来られました。また、この日は同窓会総会も開催されOB・OGと現役生を交えた交流もありました。二日目は天候も回復し、爽やかな初夏の日差しのもと、多くの催しに参加されるお客様で賑わいました。お子様向けのイベントもあり親子



で参加して下さるお客様も多数いらっしゃいました。

また、本学では二年連続となるミニオープンキャンパスを同時開催したところ、看護に興味を持つ中高生、社会人の方々が参加してくださいました。

大学祭としては二日間で九八八名の来場がありました。実行委員の皆様、準備、本番、片付けと奔走して下さりありがとうございました。来年も学生、卒業生、保護者の方々のご参加をお待ちしております。